



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月14日

上場会社名 株式会社JMC 上場取引所 東
 コード番号 5704 URL <https://www.jmc-rp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 渡邊 大知
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 篠崎 史郎 TEL 045-477-5751
 半期報告書提出予定日 2025年8月14日 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	1,435	△11.3	△89	—	△94	—	△72	—
2024年12月期中間期	1,618	△8.0	68	△76.9	76	△74.7	49	△73.8

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	△13.02	—
2024年12月期中間期	8.83	8.77

(注) 2025年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期中間期	4,339	2,838	65.4	511.18
2024年12月期	4,701	2,901	61.7	524.30

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 2,838百万円 2024年12月期 2,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00			
2025年12月期（予想）			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	7.4	240	172.5	230	87.1	150	196.0	26.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	5,598,500株	2024年12月期	5,597,700株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	44,800株	2024年12月期	63,200株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	5,542,473株	2024年12月期中間期	5,574,617株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2025年8月25日（月）に機関投資家・アナリスト向け説明会（Web説明会）を開催する予定です。この説明会の動画については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

決算補足説明資料は、説明会開催後速やかに日本取引所グループウェブサイト上の「東証上場会社情報サービス」に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	5
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間貸借対照表	6
(2) 中間損益計算書	8
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間（2025年1月1日～2025年6月30日）における我が国経済は、一部では経済活動の正常化による緩やかな回復が続くものの、米国新政権の関税政策による懸念、物価の上昇、地政学的リスクの長期化など、先行きの不透明感が増しております。

当社を取り巻く試作・開発市場は、EV（電気自動車）開発が本格化することで複雑な形状や、ギガキャスト（注1）の試作需要が増加しておりますが、鋳造品の高難度・大型化に対して効率的な生産活動が追いつかず、利益面で苦戦を強いられております。またFA（ファクトリーオートメーション（注2））分野では、高品質な鋳造品を量産できる体制を訴求することで、様々なロボット筐体への採用提案を進めております。

このような環境の中、コンセプトセンター（長野県飯田市）で2023年度に稼働を開始した国内最大規模の砂型鋳造による工場棟「第8期棟」においては、引き続き大型鋳造品生産に向けた取り組みによる製品バリエーションの拡張に努めましたが、生産ノウハウ獲得には一定の時間を要しました。

この結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高1,435,863千円（前年同期比11.3%減）、営業損失89,236千円（前年同期は営業利益68,998千円）、経常損失94,305千円（前年同期は経常利益76,182千円）、中間純損失72,181千円（前年同期は中間純利益49,248千円）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

①3Dプリンター事業

3Dプリンター事業におきましては、心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID」で前事業年度における積極的な販売促進活動を契機とした国内外顧客案件の獲得が進んだものの、期間後半では一部地域の案件で顧客の購入決定意思が遅れたことなどから前年同四半期をやや下回る実績となりました。

一方、工業向け試作品を中心とした出力サービスは、営業人員増強による案件提案スピードの強化が受注量増加に直結したことや、積極的な装置導入により造形バリエーションの拡張を実施したことなどが功を奏し、順調な推移となりました。

この結果、3Dプリンター事業の売上高は303,856千円（前年同期比2.4%増）、セグメント利益は66,886千円（前年同期比20.0%増）となりました。

②鋳造事業

鋳造事業におきましては、自動車メーカー各社及びTier1（ティアワン）部品メーカーを中心とした国内外のEV関連の試作及び開発に伴う、高難度、大型の鋳造部品の受注が継続しました。また、FA分野では、産業用ロボット向けの大型鋳造品の試作案件の獲得が進みました。一方で新たな素材による試作や、大型かつ高難度の鋳造品を安定的に生産するための製造技術獲得および品質管理体制の確立に向けた取り組みでは、各工程で試行錯誤を通じたノウハウ獲得が続いており、コスト面では想定を上回るマイナスの影響が生じております。

生産面では「第8期棟」でのギガキャストをはじめとした大型鋳造品の生産設備導入を進め、FA分野の量産と並行して、受注バリエーション、受注量の増加に備えておりますが、効率的な生産体制の維持には上流工程での技術的課題の解決が不可欠であり、効果の出現までには時間がかかる見通しです。

この結果、鋳造事業の売上高は904,799千円（前年同期比12.5%減）、セグメント損失は74,413千円（前年同期はセグメント利益42,990千円）となりました。

③CT事業

CT事業におきましては、計測装置メーカー主催のセミナーへの登壇や、自社主催セミナーの再開など、産業用CTの認知拡大を積極的に推進し、同分野のスキャンサービス需要の獲得が順調に進みました。第1四半期会計期間での国内電池メーカーへのCT装置販売実績があったものの、全期間を通じて数量ボリュームのある非破壊・選別案件の需要が少なかったことで、売上高・利益とも前年同期の実績を下回りました。

この結果、CT事業の売上高は227,207千円（前年同期比21.0%減）、セグメント利益は162,623千円（前年同期比27.6%減）となりました。

（注1）ギガキャスト

大型の鋳造設備で複数のアルミ合金部品を1つのパーツとして成型し、大型の車体部品を生産する方法です。当社では自動車生産工程のギガキャスト化を見据え、試作段階での大型アルミニウム鋳造品の提案を強化、製品化を実現しております。

（注2）ファクトリーオートメーション

工場における生産工程の自動化を図るシステムのことです。当社は筐体の金属部品に、軽量かつ高強度のマグネシウム鋳造品やアルミニウム鋳造品を提案しております。

なお、当中間会計期間の販売実績（内部取引を除く）を産業区分別に示すと次のとおりであります。

3Dプリンター事業

セグメント内産業区分	第34期 中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)		
	販売件数 (件)	販売金額 (千円)	比率 (%)
卸売業	202	145,567	47.9
精密機械・医療機械器具製造業	120	42,646	14.0
電気機械器具製造業	136	24,387	8.0
専門サービス業（他に分類されないもの）	28	22,753	7.5
一般機械器具製造業	71	20,768	6.8
その他の製造業	113	9,585	3.2
輸送用機械器具製造業	19	9,152	3.0
教育	17	5,948	2.0
化学工業	28	4,431	1.5
その他	115	18,614	6.1
合計	849	303,856	100.0

鑄造事業

セグメント内産業区分	第34期 中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)		
	販売件数 (件)	販売金額 (千円)	比率 (%)
一般機械器具製造業	806	449,536	49.7
輸送用機械器具製造業	85	198,291	21.9
卸売業	161	177,486	19.6
鉄鋼業、非鉄金属製造業	40	43,081	4.8
電気機械器具製造業	36	12,803	1.4
娯楽業	5	8,523	0.9
精密機械・医療機械器具製造業	12	7,035	0.8
自動車・自転車小売業	6	4,829	0.5
自動車整備業、駐車場業	1	1,412	0.2
その他	6	1,802	0.2
合計	1,158	904,799	100.0

CT事業

セグメント内産業区分	第34期 中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)		
	販売件数 (件)	販売金額 (千円)	比率 (%)
卸売業	88	86,320	38.0
一般機械器具製造業	46	40,171	17.7
専門サービス業（他に分類されないもの）	28	24,999	11.0
電気機械器具製造業	44	23,895	10.5
輸送用機械器具製造業	35	23,755	10.4
精密機械・医療機械器具製造業	11	6,740	3.0
その他の製造業	12	4,700	2.1
鉄鋼業、非鉄金属製造業	15	3,365	1.5
化学工業	4	2,000	0.9
その他	36	11,260	4.9
合計	319	227,207	100.0

(注) 1. 産業区分に関しては、株式会社帝国データバンクのTDB産業分類表の中分類に従っております。
2. 販売件数、販売金額及び比率は、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれておりません。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間会計期間末における流動資産は1,254,404千円となり、前事業年度末に比べ281,404千円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が156,477千円、前渡金が97,319千円減少したことによるものであります。

固定資産は3,085,324千円となり、前事業年度末に比べ80,253千円減少いたしました。これは主に建設仮勘定が97,745千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は4,339,728千円となり、前事業年度末に比べ361,658千円減少いたしました。

(負債)

当中間会計期間末における流動負債は961,508千円となり、前事業年度末に比べ49,950千円減少いたしました。これは主に契約負債が72,903千円増加したものの、未払金が111,224千円減少したことによるものであります。

固定負債は539,300千円となり、前事業年度末に比べ248,887千円減少いたしました。これは主に長期借入金が221,507千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,500,808千円となり、前事業年度末に比べ298,837千円減少いたしました。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は2,838,919千円となり、前事業年度末に比べ62,820千円減少いたしました。これは主に中間純損失を72,181千円計上したことによるものであります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、減価償却費、売上債権の減少額による収入等があったものの、有形固定資産の取得による支出、短期借入金の純減額、長期借入金の返済による支出等により、前事業年度末に比べ26,277千円減少し、当中間会計期間末には393,434千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において営業活動の結果獲得した資金は368,173千円（前年同期は649,668千円の獲得）となりました。これは主に、減価償却費190,845千円、売上債権の減少額172,521千円等の資金の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において投資活動の結果使用した資金は134,137千円（前年同期は65,922千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出134,163千円等の資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において財務活動の結果使用した資金は260,313千円（前年同期は118,700千円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出121,507千円、短期借入金の純減額100,000千円等の資金の減少があったことによるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間会計期間の業績は、当社の想定を下回って推移いたしました。経済状況の不透明さが増加する中、水面下では一部で底堅い需要の動きも確認しております。一方で米国との関税交渉については、現時点で見極めは困難ではあるものの、今後の影響について精査を継続しております。

このため、現時点において通期の業績予想につきましては、2025年2月14日公表の「2024年12月期 決算短信」における2025年12月期の業績予想からの変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当中間会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	419,712	393,434
受取手形及び売掛金	484,585	328,108
電子記録債権	176,683	160,639
商品及び製品	38,736	17,663
仕掛品	88,120	174,200
原材料及び貯蔵品	81,599	112,301
前払費用	45,464	66,365
未収還付法人税等	59,805	—
前渡金	97,319	—
その他	44,217	2,013
貸倒引当金	△436	△322
流動資産合計	1,535,808	1,254,404
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	1,809,851	1,800,310
機械及び装置 (純額)	359,187	403,091
土地	320,737	320,737
リース資産 (純額)	147,732	105,896
建設仮勘定	152,965	55,219
その他 (純額)	262,593	258,783
有形固定資産合計	3,053,067	2,944,039
無形固定資産	38,395	33,912
投資その他の資産	74,114	107,372
固定資産合計	3,165,578	3,085,324
資産合計	4,701,386	4,339,728

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当中間会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,690	161,833
短期借入金	250,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	226,012	326,012
リース債務	80,203	59,614
未払金	229,211	117,987
未払法人税等	—	12,109
契約負債	11,206	84,110
賞与引当金	—	37,000
製品保証引当金	1,611	1,135
その他	97,522	11,706
流動負債合計	1,011,458	961,508
固定負債		
長期借入金	612,946	391,439
リース債務	85,041	57,609
資産除去債務	89,810	90,154
その他	389	97
固定負債合計	788,188	539,300
負債合計	1,799,646	1,500,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	817,533	817,733
資本剰余金	804,533	804,855
利益剰余金	1,310,031	1,237,850
自己株式	△30,358	△21,520
株主資本合計	2,901,740	2,838,919
純資産合計	2,901,740	2,838,919
負債純資産合計	4,701,386	4,339,728

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,618,332	1,435,863
売上原価	1,071,943	1,052,507
売上総利益	546,388	383,356
販売費及び一般管理費	477,390	472,592
営業利益又は営業損失 (△)	68,998	△89,236
営業外収益		
受取利息	1	144
補助金収入	6,341	750
受取補償金	11,240	205
その他	896	875
営業外収益合計	18,480	1,975
営業外費用		
支払利息	5,628	5,140
為替差損	5,575	1,850
シンジケートローン手数料	92	—
コミットメントフィー	—	53
営業外費用合計	11,296	7,044
経常利益又は経常損失 (△)	76,182	△94,305
特別利益		
固定資産売却益	499	9
特別利益合計	499	9
特別損失		
固定資産除却損	—	3,984
特別損失合計	—	3,984
税引前中間純利益又は税引前中間純損失 (△)	76,682	△98,280
法人税、住民税及び事業税	35,804	3,837
法人税等調整額	△8,371	△29,937
法人税等合計	27,433	△26,099
中間純利益又は中間純損失 (△)	49,248	△72,181

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	76,682	△98,280
減価償却費	178,483	190,845
受取補償金	△11,240	△205
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,572	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	514	37,000
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△147	△476
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△245	△113
受取利息及び受取配当金	△2	△144
支払利息	5,628	5,140
固定資産売却損益(△は益)	△499	△9
固定資産除却損	—	3,984
売上債権の増減額(△は増加)	373,313	172,521
棚卸資産の増減額(△は増加)	29,835	△95,709
前渡金の増減額(△は増加)	59,064	97,319
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,008	46,142
未払消費税等の増減額(△は減少)	57,877	△83,673
未収消費税等の増減額(△は増加)	52,298	△408
その他	△61,285	34,039
小計	734,699	307,971
利息及び配当金の受取額	2	144
利息の支払額	△6,226	△5,578
補償金の受取額	3,300	205
法人税等の支払額	△82,106	—
法人税等の還付額	—	65,430
営業活動によるキャッシュ・フロー	649,668	368,173
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△57,424	△134,163
無形固定資産の取得による支出	△9,019	—
有形固定資産の売却による収入	500	10
敷金及び保証金の差入による支出	△0	—
敷金及び保証金の回収による収入	22	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,922	△134,137
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	△100,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△143,006	△121,507
リース債務の返済による支出	△38,094	△39,206
株式の発行による収入	12,400	400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118,700	△260,313
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	465,045	△26,277
現金及び現金同等物の期首残高	303,243	419,712
現金及び現金同等物の中間期末残高	768,289	393,434

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 事業	鋳造事業	CT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	296,848	1,033,876	287,606	1,618,332	—	1,618,332
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	296,848	1,033,876	287,606	1,618,332	—	1,618,332
セグメント利益	55,716	42,990	224,582	323,289	△254,291	68,998

(注) 1. セグメント利益の調整額△254,291千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 事業	鋳造事業	CT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	303,856	904,799	227,207	1,435,863	—	1,435,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	303,856	904,799	227,207	1,435,863	—	1,435,863
セグメント利益又は セグメント損失(△)	66,886	△74,413	162,623	155,095	△244,331	△89,236

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△244,331千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。